

序

人類がはじめて月に第一歩を印するというアポロ計画の華々しい成功は未だわれわれの心に鮮やかに残っています。十余年にわたり何万という人達が一つの目的のために辛棒強くこつこつと努力を重ねて来た成果の積上げと集成が、あの輝かしい成功をうみ出したといえましょう。アポロ11号につづく12号も近く打上げられようという時、本所報第14号が出ることとなります。内容は極めて地味なものばかりですが、やがてこれ等の研究の積重ねが実を結ぶ時の来ることを夢みつつ、読者の皆様にお贈りすることに致しましょう。

1969年10月

清水建設研究所 所長

大 築 志 夫